

横浜駅観光案内所が移転、新装オープンします！



令和2年6月24日(水)のJR横浜タワーの開業に伴い、横浜駅観光案内所はJR横浜タワー内2階アトリウムに移転し、規模を拡大して新装オープンします。従来の観光案内のサービスに加え、お客様ご自身でゆっくりと横浜の文化や歴史の魅力に触れることのできるスペースもご用意しました。



<移転後の横浜駅観光案内所の外観イメージ(2020年1月23日 JR 東日本ニュースより)>

【移転後の横浜駅観光案内所の特徴】

- 案内所前にあるラウンジと一体のゆったりとしたスペースでご利用いただけ、その場で行先を相談することもできます。
- 来訪者は、観光案内所の営業時間外でも、アトリウムの運用時間(7～9時、19時～23時)にラウンジで観光パンフレットを入手することができます。

※6月24日～28日の間は、新型コロナウイルス拡散防止の観点から、アトリウムの運用時間は9～20時となります。

- 歴史や文化など、横浜の魅力を知ることのできる書籍の閲覧スペースがあります。
- 新たにモバイルバッテリーレンタルサービス「充レン」のレンタルスタンドを設置します。
「充レン」: 1回330円(税込)で、レンタル当日から翌日24時まで利用できるモバイルバッテリーのレンタルサービス。運営主体は東京電力エナジーパートナー株式会社。現在は、東急東横線などの駅や羽田空港等、首都圏を中心に約270箇所に設置されている(令和2年5月末時点)。今後、桜木町駅・新横浜駅観光案内所にも設置予定。なお、モバイルバッテリーの返却はレンタルしたスタンド以外でも可能。詳細は公式HP(<https://ju-ren.jp/>)をご確認ください。

- Wi-Fiを完備しています。(1回あたり3時間まで無料)
- 電源つきパソコンカウンターがあります。

<裏面あり>

【移転後の横浜駅観光案内所概要】

立地	JR 横浜タワー 2階アトリウム（横浜市西区南幸1丁目1-1）
電話番号	045-620-9926
営業時間	9：00～19：00（無休）
運営主体	（公財）横浜観光コンベンション・ビューロー
対応言語	日英中韓
面積	60.74 m ² （旧横浜観光案内所：20.22 m ² ）
サービス	観光案内・相談、観光情報発信、無料Wi-Fi、モバイルバッテリーレンタル
JNTO 認定外国人観光案内所カテゴリ	カテゴリ 3※

※日本政府観光局では、外国人観光案内所の認定制度を運用しています。認定区分の一つであるカテゴリの主な基準は次のとおりです。

カテゴリ 3：常時英語による対応が可能。その上で、英語を除く2以上の言語での案内が常時可能な体制がある。全国レベルの観光案内を提供。原則年中無休。Wi-Fiあり。ゲートウェイや外国人来訪者の多い立地。

【その他】

- ・オープン当日（6月24日）は10時に営業開始します。
- ・現横浜駅観光案内所（横浜駅中央通路内）は6月23日（火）まで営業します。
- ・横浜市観光案内所（横浜駅、桜木町駅、新横浜駅）では、新型コロナウイルス感染症の拡大予防に向けた取組として、床面へのフットプリントの貼付やスペースを取った座席レイアウトなど利用者間の物理的な距離の確保に努めるほか、窓口へのビニールカーテンの設置、アルコール消毒液設置による利用者の手指の消毒励行等の対策を講じています。

【取材のお問合せ】

下記お問合せ先へご連絡ください。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、6月24日当日の現地での取材対応はできませんのでご了承ください。画像の提供は可能です。

お問合せ先	
（本記者発表資料に関すること）	
横浜市文化観光局観光 MICE 振興部観光振興課集客推進担当課長	鳥丸 雅司 Tel 045-671-4232
（観光案内所に関すること、画像提供に関すること）	
（公財）横浜観光コンベンション・ビューロー事業部事業開発課担当課長	宮本 裕子 Tel 045-221-2111